

日本音楽教育メディア学会

設立趣意書

私ども「日本コンピュータ音楽教育学会」(平成5年8月設立)は、子どもの創造性や豊かな感性の育みに向けて、コンピュータを介在した実践研究を中心に活発な活動を継続してまいりました。その間、時代の流れの中で他の多くのDTM関係の研究会は解散し、唯一残留の本会も現在では活動の休止を余儀なくされております。関係各位の一部には本会の活動再開を望む声も聞かれる中、さりとてICTをメインとする音楽教育の研究会は需要の希薄な中で成り立つことは難しく、ここ数年はその方向性を模索していたものであります。

しかしながら世の中の流れと共に教育現場はインターネットを介した実践方法の拡大や新しい電子機器の普及・活用は全国的に進行中であり、また音楽(教育)自体が複数要素やメディアを包含していることを鑑みる時、それらを含めた多面的なアプローチが必要であると考えます。

そのような経緯を経て、この度旧学会を基にその趣旨を受け継ぎ、「日本音楽教育メディア学会」として新たな出発を迎えることとなりました。本会は旧学会を受け継ぎながらICTに限定することなく、音楽教育と関連する様々なメディアを含めた複眼的研究を目指すものであります。

故にここでの「メディア」の定義を「多様な媒体」とすることによって、音楽が関わるあらゆるメディア(言葉、文字、身体、絵画や写真、楽器、ICT等)をその研究の対象といたします。

このことは例えば、歌唱や身体表現が言葉(国語)や運動(体育)と密接な関係があるように、多くの教科等との協働的活動の可能性を有していることで、本会は音楽教育が関わる他教科・他領域等との協働的活動を積極的に推進するものであります。

趣意をご理解頂き、皆様のご参加をお待ちしております。

2014年6月吉日

日本音楽教育メディア学会

設立準備委員会

発起人/田村幸雄、谷中優、Boyko SATOYANOV